

民生委員・児童委員の 実働と町の支援は

答
欠かせない存在、
しっかりと支援していく

池尻 コミュニティー活動の衰退や隣近所の交流不足、就業率の上昇等による成り手不足の対策は。

町長 現状欠員とは言えないが、定員不足とはなっている。改選に向け、早めの通知をお願いしている。住民周知として民生委員の役割等を分かりやすく解説した広報チラシで啓発し、活動しやすい環境づくりに努めている。

池尻 実働状況の把握は出来ているか。

町長 ワークシヨップを行い、中身を検証している。県からも調査

表が届き、調査を行っている。

池尻 活動費の問題については。

町長 実状も踏まえて、活動費は県南において一番多く支出している。

その他

公民館の整備、活用について質問。
多くの要望を真摯に受け止めながら検討していきたい。こどもまんなかプロジェクトにおいて、集まれ公民館事業を実施していくと答弁があった。



池尻 浩一 議員



▶利活用が期待される
公民館（藤田区）

ふるさと納税の 今後の取り組みは

答
魅力的な商品の掘り起こし
を進め、寄付増額を目指す

辻 新しい事業者で取り組んだ6年度の実績は。

町長 ふるさと納税額2億3千万円、前年比15.4%と大きく増加した。

辻 返礼品の広川町産品の割合は。

町長 寄付額で78%となっており、今後も広川産品のPRを含め、町を応援してもらえよう取り組んでいく。

辻 広川サービスエリアで取り組んでいる店舗型ふるさと納税の取り組みは。

町長 その場で

クーポンを発券し、お土産や食事ができるサービスで、まだ利用が少ない。SA利用が多い時期にPR等を強化し利用拡大を図っていく。

辻 大きく制度が変わるふるさと納税について今後の取り組みは。

町長 広川町応援の受け皿として、ルールを



店舗型ふるさと納税を利用している様子



辻 満晴 議員

守って、背伸びしすぎぬよう気を配りながら納税額の増加を図っていく。

その他

農地の有効利用について質問した。
中間管理機構への移行の状況や、目標地図を入れた地域計画の農家への周知についてJA等と協力し進めていきたいとの答弁であった。